

# 鹿児島県立短期大学 平成 21 年度 ミニ講義メニュー

※ミニ講義とは本学教員が本学にて高校生向けにおこなう講義です

## 文学科

授業時間	番号	講義名	専攻	担当教員
随時	文 1	外国資料に見る中世日本語	日本語日本文学	望月 正道
	文 2	伊勢物語と絵	日本語日本文学	木戸 裕子
	文 3	日本語の仕組みを探る面白さ	日本語日本文学	建石 始
	文 4	日本語を教えるとは？		
	文 5	分かりやすい文章表現とは？		
	文 6	身近にある中国文学・漢文	日本語日本文学	土肥 克己
	文 7	英語から鹿児島弁を見る	英語英文学	松山 哲也
	文 8	世界の中の鹿児島弁：アクセントを中心に		
	文 9	英語の感覚と日本語の感覚		
	文 10	ことばの宇宙への小旅行		
	文 11	「英語」を第 2 言語として獲得可能か？	英語英文学	久木田 美枝子

## 生活科学科

授業時間	番号	講義名	専攻	担当教員
随時	生 1	わたしたちの食生活	食物栄養	倉元 綾子
	生 2	生活の科学の未来		
	生 3	豊かな食生活をおくるために	食物栄養	町田 和恵
	生 4	健康情報番組のウソ・ホント	食物栄養	多田 司
	生 5	「食」のスペシャリストになろう	食物栄養	木下 朋美
	生 6	食品の香りや色を作り出す酵素の働き		
	生 7	五感で感じる化学の世界		
後期	生 8	本とデザイン	生活科学	丸山 容爾
随時	生 9	色について	生活科学	坂上 ちえ子
	生 10	カラーコーディネートの基礎		
	生 11	短期大学で生活科学を学ぶとはどういうことか	生活科学	多々良 尊子

## 商経学科

授業時間	番号	講義名	専攻	担当教員
随時	商 1	ベトナム戦争とその後	経済	福田 忠弘
	商 2	平和学入門		
	商 3	グローバルな市民社会の構築にむけて		
	商 4	ODA 改革	経済	船津 潤
	商 5	財政について		
	商 6	はじめてのパソコンセキュリティ	経営情報	岡村 俊彦
	商 7	産業心理学入門		
	商 8	アジアは今	第二部	野村 俊郎
	商 9	グローバル化, IT 化, 規制緩和は世界をどう変えたか？		
	商 10	法学入門 ～法律家は悪しき隣人？～	第二部	疋田 京子
	商 11	法学入門 ～法とは何か～	第二部	山本 敬生

# 鹿児島県立短期大学 平成 21 年度 出張講義メニュー

※出張講義とは本学教員が高等学校に出張し、おこなう講義です。

## 文学科

授業時間	番号	講義名	専攻	担当教員
随時	文 1	外国資料に見る中世日本語	日本語日本文学	望月 正道
	文 2	伊勢物語と絵	日本語日本文学	木戸 裕子
	文 3	源氏物語の親と子		
	文 4	日本語の仕組みを探る面白さ	日本語日本文学	建石 始
	文 5	日本語を教えるとは？		
	文 6	分かりやすい文章表現とは？		
	文 7	中国文学の裁判もの	日本語日本文学	土肥 克己
	文 8	シェイクスピアの作品と黒澤映画	英語英文学	轟 義昭
	文 9	辞典に収録された日本語起源の英単語		
	文 10	『カンタベリ物語』における作者チョーサーの皮肉と夫婦観		
	文 11	英語から鹿児島弁を見る	英語英文学	松山 哲也
	文 12	世界の中の鹿児島弁：アクセントを中心に		
	文 13	英語の感覚と日本語の感覚		
	文 14	ことばの宇宙への小旅行		
	文 15	「英語」を第 2 言語として獲得可能か？		

## 生活科学科

授業時間	番号	講義名	専攻	担当教員
随時	生 1	わたしたちの食生活	食物栄養	倉元 綾子
	生 2	生活科学の未来		
	生 3	自分の健康は自分で守る	食物栄養	町田 和恵
	生 4	これからの健康長寿を目指して	食物栄養	多田 司
	生 5	「食」のスペシャリストになろう	食物栄養	木下 朋美
	生 6	食品の香りや色を作り出す酵素の働き		
	生 7	五感で感じる化学の世界		
	生 8	色とカラーコーディネートの基礎	生活科学	坂上 ちえ子
	生 9	短期大学で生活科学を学ぶとはどういうことか	生活科学	多々良 尊子

## 商経学科

授業時間	番号	講義名	専攻	担当教員
随時	商 1	ベトナム戦争とその後	経済	福田 忠弘
	商 2	平和学入門		
	商 3	グローバルな市民社会の構築にむけて		
	商 4	ODA改革	経済	船津 潤
	商 5	財政について		
	商 6	はじめてのパソコンセキュリティ	経営情報	岡村 俊彦
	商 7	産業心理学入門		
	商 8	アジアは今	第二部	野村 俊郎
	商 9	グローバル化, IT化, 規制緩和は世界をどう変えたか？		
	商 10	法学入門 ～法律家は悪しき隣人？～		
	商 11	法学入門 ～法とは何か～	第二部	山本 敬生